

骨粗しょう症検診のすすめ

自分の骨の強さを調べてみませんか？

検査費用補助が受けられます！

骨粗しょう症検査の必要性

骨粗しょう症は症状がほとんどなく、骨がもろくなり骨折を起こしてから、診断されることが多い病気です。**女性**に多く、**閉経後の50歳代後半**から急激に増加し、60歳代の**約5割**、70歳代の**約7割**が骨粗しょう症と言われています。

早期診断・早期治療を行うことで、**骨折の予防**や**健康寿命の延長**が期待できますが、骨粗しょう症の検診率は全国平均で**5%未満**です。

現在、様々な測定方法がありますが、デキサ法は最も信頼の高い測定方法であり、骨粗しょう症診断基準でも、デキサ法を用いて計算することが推奨されています。当院では骨の密度を測るのにデキサ法を用いています。



検査は**5分程度**で、寝ているだけです。

痛みはありません。

腰や足の付け根の骨に、少ないX線を利用し、簡単に検査ができます。

検査結果をもとに数値化し、検査結果を表示します。

骨粗しょう症検診にかかる費用の補助について

高萩協同病院では多賀医師会からの協力を受けて、デキサ法を用いた骨粗しょう症検診を実施することになりました。費用の補助があります。

自己負担額 **2,000円**（費用補助額 **2,500円**）

検診の対象となる方と申し込み方法

対象者 **北茨城市、高萩市在住の50歳以上の女性**
骨粗しょう症の治療を受けたことがない方

申し込み方法 電話予約

TEL 0293-23-1122 県北医療センター高萩協同病院 健康管理センター

結果は後日郵送でお知らせします。この機会にどうぞ検診を受診しましょう！

県北医療センター 高萩協同病院

〒318-0004 茨城県高萩市大字上手綱1006-9

TEL: 0293-23-1122 FAX: 0293-24-1063 E-mail: takakyou@atlas.plala.or.jp